

事務事業 No./名称	■サービス部門 消防-13 鎌倉・大船消防署警防活動事業						
主管課	鎌倉・大船消防署	関連課					
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	救急件数の少ないまちづくり、火災件数の減少を目指し、火災予防の啓発を図る。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人			
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
	事業の対象者数						
運営資源状況	決算値(千円)						
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)						
	人員配置数	180.0	180.0	177.0			
	人件費(千円)	1,671,531	1,703,657	1,698,605			
	協働のパートナー						
事務事業運営経費	総事業費(千円)	1,671,531	1,703,657	1,698,605			
	市民1人当りの経費(円)						
	対象者1人当りの経費(円)	9,435	9,643	9,625			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
消防力の充実	○	目標値	○	○	○	○	
		実績値	○	○			

◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。		
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。		
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止		
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)	
H22年度の課題	多くの新人職員が災害現場での経験が不足しているため、当直業務中に訓練時間を確保する。
課題解決のための取組	当直中の訓練については、複数隊が合同で実践的訓練を実施するなど効率よく行った。
未解決の課題	訓練を実施するにあたり、災害出場が優先となるため、時間の確保に苦慮している。
今後の方針	新人職員に対する訓練方法について、隊員間で協議し、課題の整理を行いながら効率的に実施して行きたい。
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 ⇒ A ※ <input type="checkbox"/> 事業完了 課長名 柿崎 雅之

個別事業の概要

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果
主な個別事業					<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
主な個別事業					<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
主な個別事業					<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
主な個別事業					<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
主な個別事業					<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
主な個別事業					<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり